

流通の目から見た伝統工芸

九谷陶芸 北山堂
代表取締役 高橋洋一朗

プロフィール



- ▶ 1971年 生まれ
- ▶ 1994年 (株)アイトー（陶磁器流問屋 日本橋高島屋・松坂屋を担当） 入社
- ▶ 1997年 北山堂へ入社

- ▶ 役職
- ▶ 九谷陶芸 北山堂 代表取締役 （五代目）
- ▶ 協同組合 加賀能登のれん会 副理事長 （全国有名百貨店で物産展を開催）
- ▶ 広坂振興会 会長 （商店街）

九谷焼の流通（現在）



- ▶ 明治時代、九谷焼は貿易品として盛んに海外へ輸出。なかでも九谷庄三の作品は海外の博覧会で人気を博し、「ジャパングタニ」の名を世界にとどろかせた。明治20年代には、九谷焼は日本での輸出陶磁器第1位となるまでにのぼりつめていく
- ▶ 花瓶や皿など、1000個以上の贈答品の需要も多く、問屋さんを間に挟むことにより、在庫などを持ち合っていた
- ▶ バブル時代は、若手作家でも10万円以上で取引される
- ▶ 手作り・手描きでは生産が追い付かず、技術革新により転写・型など機械に頼った商品が急増
- ▶ 下手な職人は、工芸品を作るよりも、他の業種で働いた方が儲かるため、廃業が増える

九谷焼の流通



- ▶ **バブル崩壊後の需要の大幅減**
 - ▶ ・住空間の変化 (床の間がなくなる)
 - ▶ ・進物から自家需要
- ▶ **徒弟制度の崩壊**
 - ▶ ・学校卒の職人・作家がそのまま独立
- ▶ **職人・作家が直接ギャラリー等で消費者に即売**
 - ▶ ・グループ展
 - ▶ ・販売業務まで行うため、作ることに専念できない

阪急百貨店 うめだ本店

金沢・加賀・能登展 (クラフト広坂に出展協力・石川県観光交流課・ISICO)
 全体売上1億円達成 目標比119% (食品・工芸の合計 工芸は2700万円)



九谷焼ウルトラマン



「九谷焼彩匠会」ウルトラマンシリーズ

名だたる名工から人気の若手作家まで、
 九谷焼を代表する作家約40名が絵付け。
 それぞれの画技・画風が見事に表現された、
 人気キャラクター11種類が登場します。

- ① 福島武山 バルトタン星人(高さ約8.4cm)129,600円【限定1】
- ② 仲田錦玉 ウルトラマン(高さ約9.4cm)108,000円【限定1】
- ③ 武腰一憲 ウルトラマンギンガ(高さ約10.2cm)129,600円【限定1】
- ④ 中村陶志人 ゼットン(高さ約11.5cm)129,600円【限定1】

※追加制作承りの場合、①は6ヵ月後、②③は3ヵ月後のお渡しとなります。
 他にも、ウルトラマンタロウ 10,800円など

現代アートと金沢上生菓子のコラボ



牟田 陽日

西洋と日本、現代美術と工芸の枠を越えた
独自の美を追求する九谷絵作家。
菓子皿「黄ノ花」4,104円【限定4】



河端 理恵子

九谷焼の伝統技法である赤絵細摺の名工、
福島武山に師事。
彩り豊かでどこかオリエントな作風が魅力。
菓子皿「赫瀬ひょうたん小皿」5,400円【限定5】



CHECK!

上記4人の女性陶芸作家がデザインを手掛けました

「森八」のアートな上生菓子セット

金澤 美の甘味(1箱4個入り)
1,296円【各日限定100】※最終日は限定50

(写真左上から右回り)

牟田陽日「黄ノ花」／川端理恵子「六瓢箪」
佐合道子「ふゆもり」／水元かよこ「夢うつつ」

※催場内「森八」コーナーにて販売



海外展開

(金沢市観光政策課 誘客推進室・加賀市観光課)

- ▶ 台南・新光三越 金沢加賀美食工芸展
- ▶ 八田與一・墓前祭に合わせて開催(本年度6回目)
- ▶ 2017年5月6日(土)～5月15日(月) 予定



台北・太平洋SOGO 日本展 金沢ブースとして工芸のみ出展

- ▶ 2016年7月26日(火)～8月9日(火) 合計15日間
- ▶ 全体 \$4000万 (日本円で1億4800万円)
- ▶ 工芸 \$12,197,334(購買者数2,224名 日本円で約4500万円 予算200%達成)
- ▶ 金沢工芸チーム 合計売上 \$2,436,478 (8,401,648円)



山野市長を表敬訪問 太平洋sogo 副総経 理 播本さん 呉さん



現在、当店で取り扱っている商品に 卯辰山芸工房・金沢美術工芸大学の 卒業生はゼロ

- ▶ (原因と対策)
- ▶ 優秀な卒業生のほとんどが金沢にいない(就職先・働き口がない)
- ▶ ⇒産学官の連携で、金沢で就労することを斡旋
- ▶ ⇒卒業後、2年間は金沢に滞在することを入学条件

- ▶ 需要の開拓
- ▶ ⇒金沢市の記念品など入札制度の廃止。卒業生や在学している人の商品を
- ▶ 購入
- ▶ ⇒商人にも補助金(就労の確保)

金沢のアイデンティティを
大切にした、
世界に通用する一流の職人・
作家を育てよう